

開催日時	2009年3月16日(月)15:03~18:06
場 所	京都会館 会議場
参加者数	委員 14 名、河川管理者(指定席)9名、一般傍聴者(マスコミ含む)41名

## 1. 決定事項

- ・ 次回の委員会は4月8日(水)午前中に開催する方向で日程調整を進める。次回委員会までに、作業検討会を開催し、進捗点検の進め方について、委員の意見を頂く。頂いた意見は、委員長・副委員長で整理し、その結果を委員に報告する。

## 2. 報告

庶務より、前回の委員会以降の会議開催経過について報告がなされた。

## 3. 審議の概要

### 1) 進捗点検の進め方について

- 委員より、委員会作業検討会での作業状況、進捗点検の進め方と今後のスケジュール、審議資料1「進捗点検の視点・指標と基礎案施策との関連表」について説明がなされた後、河川管理者より資料「進捗点検の方法」について説明がなされ、審議が行われた。主な意見は以下の通り(例示)
- ・ 河川管理者が進捗点検を進める際には、委員と打ち合わせをしながら進めた方がよい。委員会が示した指標の中には理解しにくいものもある。
  - ・ 進捗点検の視点として「主体参加の視点」があげられているが、「住民」に的を絞ることが重要。「住民」があやふやになってしまうのではないか。  
 同じ意見が作業検討会でも出された。項目の名称は「主体参加の視点」となっているが、内容は住民を中心に考えている。住民を含めてスムーズに進めていくためには、住民以外の多数の主体の参加が必要になってくるとい趣旨だ。
  - ・ 河川管理者資料「進捗点検の方法」では、委員会が示したそれぞれの指標をA~Dに分類している(A:特に問題はない。B:現在は保有していない、または、今後測定の手配がないデータ。C:指標として具体性を持たせる必要がある。D:趣旨が不明確)。今は点検できないが、今後は点検していかなければならない指標もあるので、委員会と河川管理者ですり合わせあわせていくことが重要だ。  
 CやDに分類されている指標については、定量化できるものとできないものがある。評価の手法そのものを検討してもらう必要がある。
  - ・ 「川が川をつくる」という考え方で事業を行ったのかどうかを点検する指標が必要だ。また、住民参加の進捗点検では、イベントへの参加者数等だけではなく、参加者の意識の変化まで点検する必要がある。
  - ・ 治水の項目には、既設ダムに関する指標が必要だ。また、「ダムの貯留効果」に関する指標も必要だ。
  - ・ 指標の中には、判断基準を併記しておかなければ、測れない指標がある。例えば、「住民参加が適正に行われたかどうか」という指標は、何を以て適正とするのか。検討しておかなければならない。
  - ・ 河川管理者は委員会側が示した指標をA~Dに分類し、「Aの指標は点検するが、Bはデータがなく、Cは具体性がない。Dは趣旨がわからない」としており、このままではA以外は進捗点検がなされない。B~Dの指標について河川管理者とすりあわせをした方がよい。  
 必ず点検してほしい指標と文章で説明してもらえればよい指標がある。委員会側の指標に重み付けをしておいた方が河川管理者も検討を進めやすい。  
 Dについては今すぐにはできないと考えているが、BとCについてはこれから考えていかなければならないと思っている。実際に点検していく中で課題が出てくるので、課題を解決していくための指標も追加していかないといけない。少しずつ良くしていくスパイラルアップの考えで進めたいと考えている(河川管理者)

### 2) その他

- 委員より、スライド「上野遊水地の有効活用に関する検討」について説明がなされた。主な意見は以下の通り(例示)
- ・ 委員会から要請された「上野遊水地の越流堤の構造や操作の工夫によって、下流への流量を減らすことはできるのではないか」という課題についてのシミュレーション結果を報告したい。越流堤の長さや高さを工夫することで下流への流量を2900m<sup>3</sup>/sから2700m<sup>3</sup>/s近くまで約200m<sup>3</sup>/s減らすことも不可能ではないと推定される。但し、限られたデータでの試算であり、計算手法も含めて、河川管理者の計算と突き合わせをする必要はあると考えている。
  - ・ 委員のシミュレーション結果が妥当であれば、川上ダムの必要性が変わってくる。そうなった場合、河川整備計画の策定とどう絡んでくるのか。

河川管理者としては、あらゆる可能性を検討した結果を説明してきた。これまでの説明が妥当という考

えは変わらない。今後、最適な越流堤については検討していきたい。

- ・今年度にはじまる川上ダム本体のバイパス工事とオオサンショウウオ調査保全検討会の報告（累計 973 匹の個体が見つかった）について、説明して頂きたい。
- ・次期流域委員会に向けた委員推薦委員会の準備状況について教えてほしい。

質問については個別にお話しさせて頂くが、次期流域委員会についてはまだ検討に至っていない（河川管理者）

- ・委員による川上ダムのシミュレーション結果、川上ダム本体のバイパス工事とオオサンショウウオについて、河川管理者からの説明をお願いしたい（委員長）

#### 4. 一般傍聴者からの意見聴取

3名の一般傍聴者から意見聴取がなされ、「一般傍聴者が少ない。委員会は住民意見をどこで聴取するのか。提出された一般からの意見への返答もない。また、予算に関する議論がない」、「河川管理者のA～Dの分類を見て、河川管理者は数字やデータがなければ点検結果は出さないと考えているように思えた。出せるところは出していくべき。また、次回委員会までに次期流域委員会について説明して頂きたい。川上ダムの越流堤に関する委員からの報告についても河川管理者は検討すべきだ」、「河川管理者は、進捗点検において、データのあ  
る指標については点検を行うが、データの無い指標については点検しないという態度だと感じた」といった発言がなされた。

以上

結果報告は主な決定事項等の会議結果を迅速にお知らせするために庶務から発信させていただくものです。詳細な議事内容については、後日公開される議事録をご参照下さい。